



紫光

令和5年度 最終号
亀岡市立詳徳小学校

令和6年3月22日発行

【TEL】0771-24-5669

【HP】<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/esho/>



詳徳小ホームページ
QRコード

令和5年度教育活動の修了

昨日、雪の舞う中、令和5年度卒業証書授与式を挙行了いたしました。厳かな雰囲気の中、6年間の成長が伺える立派な態度で卒業生は巣立っていきました。詳徳小のリーダーとして、委員会活動をはじめ、なかよし班活動等では下級生を優しく導き、最高学年としての責任を持って、学校を支えてくれた6年生。その存在の大きさを様々な行事とおして感じてきました。参加した4年生、5年生にとってもこれからの学校生活における貴重な経験となりました。卒業生の皆さんが、未来への夢と希望を胸に、これからの中学校生活で活躍されますことを心から願います。

さて本日、令和5年度修了式並びに進級式を行いました。本当に子どもたちはこの1年間で大きくたくましく成長しました。運動会や学習発表会等では、一人一人が表現することの楽しさとともに、同じ目標に向かって一緒に力を合わせることの喜びや達成感を味わうことができました。生き生きとした表情でキラキラ輝く子ども達を多くの場面で見ることができ、改めてともに学ぶことの大切さを感じた思いでした。

この1年間、本校では言葉を大切に学習を進めてきました。朝のニュースウォッチの時間には、言葉をとおして社会とつながり、読書活動をとおして多くの物語に出会い、そこに登場する様々な人物等と心を繋げてきました。また、読み聞かせてお世話になったボランティアの方々や、直接話を聴かせていただいた児童文学作家のくすのきしげのりさん、教科の学習の中でも地域の方々にお世話になる等、言葉をとおして人とのつながりを大切にしてきました。変化の激しい、未来が予想できない社会において、子どもたちが自分の進みたい道を見つけ夢を叶えていくには、しっかりと考え判断し、自分の考えや思いを表現する力が必要です。そして、それらの力を培っていくには言葉の力が大きく関わってきます。本校が取り組んできたことは、すぐに結果が出るものではありません。こつこつと積み重ねていくことで高まっていくものですが、いつからでも始められるものです。

鳥は、とび方を変えることはできない 動物は這い方、走り方を変えることはできない
しかし、人間は生き方を変えることができる。(日野原 重明)

これは、百歳を過ぎても現役の医師を続け、生涯を医学に捧げた日野原重明先生の言葉です。生き方ということ大きなことのように感じますが、子どもたちであれば、「分からない言葉は調べてみる。興味を持った記事をよく読んで考える。1日少しでも本を読んでみる。言葉づかいをちょっと見直す等。」私たち大人でも、「1日1つは子ども達に温かい言葉をかける。最後まで話を聴く。ニュースや本等の話を少しする等。」小さなことであっても、できることを続けることが、生き方に繋がっていくのだと思います。年度の終わりという節目にあたり、是非子ども達の頑張り認めるとともに、日常の中で言葉を大切にすることを意識して新しい年度を迎えていただきたく思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、ボランティアの皆様、各関係機関や各種団体の皆様には、本校の教育推進に広くそして厚く、ご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。我々教職員一同は、詳徳小学校のさらなる発展並びに子どもたちの大きな成長を目指し、力を合わせて新年度も教育活動の充実と発展に全力で努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

亀岡市立詳徳小学校長 平井眞理子

学校安全対策協力員さん募集！！

学校の安全を見守ってくださる安全対策協力員さんを募集しています。週1～2回校門前で児童の登下校を見守ったり校内を巡回したりしていただきます。勤務は午前か午後のどちらかです。

お問い合わせは、詳徳小学校(24-5669)教頭までお願いします。

保護者連携アプリ

「tetoru」について

「tetoru」の学校連絡・欠席連絡については、更新作業のため、4月9日までは、令和5年度の学年で運用します。

令和6年度の運用開始は、4月10日を予定しています。